

Yusuhara a Home from Home (第7部)

ソーシャルディスタンスの中で迎えた、1年という区切り

(A Socially Distant Anniversary)

ここ数か月間（実際には今年の大半と言ってもいいですが）というものの、コロナウイルスの感染と拡大を予防するために、たくさんの人たちが日々の暮らしの中で、大人数での活動を抑えてきました。もちろん、僕自身も含めてのことです。こうした取り組みはそう簡単なことではありませんでしたが、これといった事件や出来事がなかったことを考えると、やはり必要で、意味のある時間だったのではないかと思います。ただしこのことは、僕自身が何かやろうとしても、何もできなかった時期だった、というわけではありません。この8月で、日本と梶原にやって来てからまる1年が経ちましたが、これまでのことをじっくりと振り返るいいきっかけになりました。

それにしても、信じられないくらいにあっという間に過ぎた1年間でした。ここ半年は、コロナウイルスのせいである意味どうしようもない状況ではありましたが、この素敵な町で暮らせている喜びはずっと感じていますし、そういう立場というのはとても恵まれたものである、という気持ちにも変わりはありません。日本で生活できたことは、これからもずっと忘れることはないでしょう。そして、今から始まる新しい1年の間に、コロナウイルスのためにできなかったことができるといいな、と思っています。

とはいえ、梶原とこの町の周辺の自然の美しさについて、目にしておかなきゃいけないもの、体験しなきゃいけないことはもういろいろやっています。ドライブに出かけて、そしてちょっと小高い場所に登ってみるたびに、全然違う景色が僕を待っています……いつもいつも壮大で、いつもいつも素晴らしい眺めが。



この町を流れる川をたどると、いつでも大自然の絶景が目の前に広がっています！

(日本語訳：町 ALT 森竹弘喜)